

2024年2月研修医通信@紀南病院Vol.137

済生会松阪総合病院 北村圭

1ヶ月間お世話になりましたが、あっという間に過ぎてしまいました。

診療所研修や病棟での業務だけではなく、地域の方と触れ合ったりする中で、地域医療を担う病院としての役割を理解することができたかと思えます。また、入院患者さんの社会的な背景次第で最適な治療が異なってくるということについて、改めて深く考える機会となりました。

指導医の渡邊大和先生には、何から何まで、仕事から遊びまで、懇切丁寧に指導していただき、本当に感謝しております。また、病棟でも診療所でもスタッフの方に暖かく迎え入れていただけて、とても楽しく過ごすことができました。関わっていただいたすべての皆様、本当に1ヶ月間ありがとうございました。



東京大学医学部附属病院 井上智揮

1ヶ月間大変お世話になりました。紀南病院で非常に充実した研修を受けることができました。

病院の研修では内科として多様な疾患を経験することができ、また、大学病院と異なる地域医療について体感できました。診療所研修やきなん苑研修では在宅診療や在宅リハビリテーションについて学べ、外来や在宅での治療のあり方について知見を得られ、貴重な経験になりました。さらに、地元の方々と交流したり地域を訪れたりする機会を通じて、地域の生活や特徴に触れることができました。

紀南病院での研修は楽しい思い出で一杯です。特に、この研修でしかできない経験を数多く積めたことが大変印象的で、勉強になりました。

この場を借りて指導医の榮先生、津呂橋様、上級医の先生方、看護師の皆様、医療従事者の方々に心より御礼申し上げます。1ヶ月間ありがとうございました。

東京大学医学部附属病院 柳彰典

1ヶ月は決して短くないはずですが、この2月はとても短く感じるほど充実したものとなりました。これまでの研修は、すべて大学病院の中で完結していました。他方、紀南病院での研修は、患者さんとその地域を知る機会に満ちており、地域に生きる方々の退院後の生活、環境のことを考える姿勢が身に付いたと思います。診療所研修や病棟研修、外来研修、患者搬送、タウンミーティング、保健所研修など多様な経験を通じ、患者さんと医師、患者さんと病院、地域と病院の結びつきを感じるが多かったです。研修の中でもとりわけ救急外来は地域医療の醍醐味にあふれており、いろいろな背景の方の多様な疾病を経験することができました。また、池田先生をはじめ指導医の先生方、看護師さん、看護助手さん、検査技師さん、PTさんなど接した方全てに御礼申し上げます。

臨床研修最終月にあたる3月も引き続き濃密な研修とできるように精進していきます。



松阪中央総合病院 田中彩楓

1ヶ月間お世話になりました。紀南病院で1ヶ月過ごして感じたことはたくさんありますが、1番印象に残ったのは病院スタッフの方々の温かさです。研修開始間もない頃は病棟で迷子になったり、物品の場所がわからなかったりと困ることが多かったですが、そんな私に病院スタッフの方々が積極的に声掛けをしてくださり、たくさん助けてくださいました。「他院から1ヶ月だけ研修に来た初期研修医」の立場である私でしたが、紀南病院の医療スタッフの一員として温かく迎えてくださってすごく嬉しかったです。紀南病院で経験したことを糧に、周りの医療スタッフと積極的に協力し患者様・ご家族の方に寄り添う医療を提供できる医師にきつとなってみせます。改めて、1ヶ月間本当にお世話になりました。本当にありがとうございました。

余談ですが研修期間に牡蠣食べ放題のソロデビューをしました。記録は約45個でした。